

新潟生活

niigata seikatsu

第27号

2016年3月
発行

目次

教えて先輩! ● いつまでも記憶に残るお店に
無駄なことなんて、何ひとつない

特集 ● 自分らしい新潟との関わり方をさがす

～お子様が帰省された際に親子で将来を話し合ってみてください～

教えて先輩!

vol.51

いつまでも記憶に残るお店に

本をセレクトすることとの出会い

高校時代は写真部に所属。本格的に学んだのは大学の時です。特に、4年生のゼミで、写真に対する姿勢を教えて貰ったことが、今の自分をつくっていると思います。

卒業後、写真雑誌の出版社に就職しました。あるとき、友人のプレゼントを探しに訪れた写真集専門店で、本をセレクトしてもらう機会がありました。友人の好みや、私の希望などを聞いて、友人にぴったりな写真集を選んでくれたんです。それは、自分の引き出しにはない写真集でした。この時、専門知識を活かして本をセレクトする仕事に興味を持ちました。

すべて縁があるのだと思います

以前、雑誌を見て旅行で行き、強く惹かれていた瀬戸内の男木島に写真も撮れるし、本屋もできるかなと移住を決意。知り合いもいない場所でしたが、とにかく動いてみようと思いました。

9ヶ月ほど高松のNPOで活動していた時に、古道具屋のオーナーから声をかけてもらい、そのショップの一角落りで、共同でブックカフェ「BOOK MARUTE」を始めることになりました。

3年ほど高松で経験を積んだのですが、生まれた街で同じようなお店をやりたいと思い、1年ほど前に帰郷。昨年の12月19日に、写真集の



小倉 快子さん (28歳)

本屋 BOOKS f3 店主



地域
新潟市

新潟市出身。高校卒業後、都内の大学で写真を専門的に学ぶ。卒業後、都内の写真雑誌出版社で撮影や編集に携わる。写真集専門店で写真集をセレクトしてもらったことが印象に残り本屋の仕事に興味をもつ。香川県に移住し、古道具屋さんと共に「BOOK MARUTE」をオープン。2015年、新潟市に戻り、写真集の古書と新刊を中心とした本屋「BOOKS f3」を沼垂東に出店。

教えて先輩!

vol.52

無駄なことなんて、何ひとつない

俳優を目指したきっかけ

高校2年生の時、そろそろ進路を決めないといけないなと思っていました。大学進学を決める友人が多い中、修学旅行が終わった頃、ふと「人間らしい仕事がしたい」と思い、表現者である俳優を目指すことにしました。

学校では反対されましたが、両親は「子どもにはやりたいことをやらせたい」という考えでしたので反対することなく応援してくれました。

期待をもって進学した俳優養成学校での生活は、まるで異世界に迷い込んでしまったのかと思う日々でした。演技の勉強だけではなく、体づくり、ダンス、オーディションやエキストラとして現場に派遣される実践型のカリキュラム。300人近く入学生がいても、卒業するときには半分以下になる現実。周りの輝かしい同期と自分を比較し実力の差を思い知らされました。

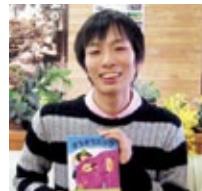
地元村上市に戻ってきて

なんとか学校は卒業したものの、このまま進

んでいいか自信が持てず、芸能事務所に所属する道は選びませんでした。打ちのめされたような失意の中、村上市にUターン。何も考えられない日々が半年くらい続きましたが、養成学校時代に撮った自主映画を観て、改めて自分の「表現への思い」を考えることになり、自分にしか出来ないこの表現方法として、本を書いてみようと思いました。

そして、デビュー作「きちきちだらり」を執筆し、2週間ほどで書き上げました。

1週間ほどして、文芸社から「ぜひ出版させてほしい」と連絡が来た時は、自分の表現が評価されたのだと実感し、本当に嬉しかったです。帰ってきたことを周囲になかなか言えなかった



笛川 永礼さん (24歳)

作家



地域
村上市

高校卒業後、俳優を目指し都内の養成学校に進学。「卒業生は入学時の半分以下」と言われる厳しい世界で、無事卒業を果たした。しかし、人によって評価の変わるものと、輝きを放つ同期生との当たりにした生活に心身は擦りきれ、卒業後は、地元村上市にUターンした。Uターン後、執筆した絵本「きちきちだらり」が2015年に出版され、現在は執筆活動と地元の学童活動に携わっている。



[アクセス](#)

ニイゲット

検索

自分らしい新潟との関わり方をさがす

Uターン・Iターン、地方移住、地域づくり、地域おこし。

地方創生の動きが活発化するなか、“地方”を取り巻くこれらのキーワードを耳にしない日はありません。

いつかは新潟に戻りたいけど、すぐには動けないし、仕事はどうしようという方も多いのです。

今回は、都市と地方の色々な関係づくりに取り組む(公社)中越防災安全推進機構の日野さんと、

日野さんが企画運営を手がける「にいがたライフスタイルカフェ」を紹介します。

自分らしい新潟との関わり方を考えるヒントにしてはいかがでしょうか。

都市と地方をつなぐ “地域づくり”を仕事に



公益社団法人
中越防災安全推進機構
ムラビト・デザインセンター
コーディネーター
日野 正基さん

新潟市出身。長岡造形大学環境デザイン学科卒。(公社)中越防災安全推進機構ムラビト・デザインセンターのスタッフとして、中山間地域への移住・交流事業など地域づくりに取り組む。新潟と東京の二地域に拠点をかまえ、Iターン留学「にいがたイナカレッジ」や「移住女子」プロジェクトのプロデュースの他、デザイナーや編集者としても活動中。

日野さんが企画・運営を手がける
“にいがたライフスタイルカフェ”的様子を紹介!



にいがた
lifestyle cafe
-自分らしいライフスタイルと出会う-

イベントレポート

“にいがたライフスタイルカフェ”は、地方で自分らしいライフスタイルを実現している先輩をゲストにトークセッションとワークショップを行い、これからの方について考える会です。ここでは昨年10月、「新しい働き方」をテーマに開催したVOL.3のトークセッションの様子を一部お伝えします。参加者の多くは仕事帰りの会社員。地方で自分らしく働く先輩のトークに、皆さん真剣に耳を傾けていました。

長谷川 奈月さん
(NPO法人ETIC)

青森生まれ札幌育ち。
大学在学時から大学生と地域の企業をつなぐインターンシップのコーディネートに従事。ETIC参画後は、チャレンジ・コミュニティ・プロジェクトの企画運営や、将来地域で仕事を創りたいと考える若手社会人向けプログラム「地域イノベーター留学社会人版」の立ち上げ、運営を担当。



モ
デ
レ
ー
タ
ー

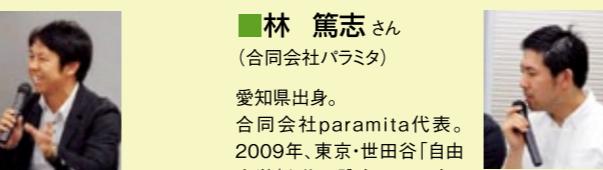
皆川 晓洋さん
(株式会社スノーピーク)

新潟市出身。
北海道の大学卒業後、東京のITベンチャー企業に就職し、営業、マーケティングなど様々な経験を積みながら、企業の成長期を支える。2012年、三条市に本社を置くアウトドア総合メーカー株式会社スノーピークへ転職。同時に、家族と共に新潟へ移住。



樺沢 敦さん
(合同会社FARM8)

長岡市出身。
中越大震災を機に名古屋から帰郷。IT企業・マーケティングコンサルタント・子育て支援事業などを通じ、新潟の地域活性に従事。それまでの経験を活かし、NPO法人の中間支援活動として、地域・産業おこしのアドバイザー及び支援活動を展開。2015年、株式会社FARM8を設立。



林 篤志さん
(合同会社パラミタ)

愛知県出身。
合同会社paramita代表。
2009年、東京・世田谷「自由大学」を共同設立。2011年、高知・土佐山「土佐山アカデミー」を仲間と立ち上げる。現在は、地域・自治体のプロデュース、企業のブランディングなどを手がけながら、全国を奔走中。



イナカレッジを立ち上げたとき、他と違うことをやろうと始めたのが“移住女子”的プロデュース。当時、移住した女性視点の情報って、あんまりなかったんですね。まずは、移住女子4人が編集を担当するフリーペーパー「ChuClu(ちゅくる)」を発行。移住女子の活動は多くのメディアで取り上げられ、地方紙でのコラム連載や講演に繋がっています。移住した女性の仕事づくりになればと始めたのですが、僕も把握しきれないほど“移住女子”的活動の場は広がっていますね。



「ちゅくる」は2013年、日本フリーペーパー大賞審査員特別賞を受賞。年4回発行

を開催。移住女子を中心としたゲストが、地方の女子の暮らしを伝えました。すぐに移住しなくてもいいんです。移住って、すぐに実行できるわけではないし、人によってタイミングがある。でも、移住を考えたとき、思い浮かぶのは何らかの繋がりがあるところ。あそこであんな暮らしをしていたとか、あんなヒトがいたなどか。ふとした時に思い出してもらうきっかけになればいいですね。

今は、県の事業“にいがたライフスタイルカフェ”的企画・運営も担当。最近は、自治体からの仕事も増えています。

地域に関わる仲間を増やしたい

僕らみたいに、仕事として地域に関わる人がもっと増えるといい。この仕事は色々な地域に行けるし、試行錯誤しながら自分の考えたことをできるのが面白い。職業として成り立つのか不思議がられることがありますか、僕の場合は



全国移住女子サミットには、未来の移住女子が約80名集い、先輩移住女子から背中を押してもらった



- 地方を運んだ女子の新しいくらしかた -
成り立っている。
東京でのイベントは、僕らの仲間づくりでもあります。地域には、まだまだ人が足りない。この仕事がもっと一般的になるよう広げていきたいですね。



80年の平屋を買ったんです。何もない1,400坪の庭でボートをする一方で、渋谷の事務所でワーキングもする。両方好きだから、両方やりたい。

どこかに拠点を移すときは、少しづつ行くのが大事だと思います。まずは気になる地域に行ってみると、人に会いに行ってみると、暮らし方や働き方を考えていくところから、暮らし方や働き方を考えていくといいのではないでしょうか。

のことですが、どんな思いがあるんですか。

樺沢 敦さん
名古屋からUターンしてIT企業で淡々と働いていたんですが、子どもが生まれたのを機に、子育て支援やマーケティング支援に取り組む会社へ転職。そこでは、NPOのコンサルをする機会が多く、深く関わるようになりました。NPOは地域の魅力や課題がよくみていて、地域って面白いと思ったんです。でも市場はみていません。地域の食や自然、風景といった魅力的な資源を、それが欲しい人たちと繋いたら商品になると思い、FARM8を設立。まだ手探りですが、地域の食材を使った加工食品の開発な

ど「食」を切り口に、地域の活性化を目指して活動しています。

長谷川 奈月さん
今日は「新しい働き方」がテーマなわけですが、林さんにとって仕事とは。

林 篤志さん
僕は、仕事と暮らしを分けていない。新しい暮らし方をしたいから、新しい働き方をしている。今は、岩手県

遠野市と東京を拠点に、全国各地を仕事で回っています。地方では、土佐山アカデミーという高知の土佐山を学校にするプロジェクトや自治体の移住促進のお手伝い。東京では、僕らみたいに地域づくり活動をする人向けのシェアハウスづくり。

東京も面白いけど、地方だからできることもある。東京にいたら結構稼がないといけないけど、地方ではそんなに稼がなくてもいいんですよ。コストが落ちるから。最近、岩手の遠野に築

にいがたライフスタイルカフェの開催情報は、ホームページ「にいがた暮らし」で随時お届けします。興味のある方はチェック!

にいがた暮らし

検索

新潟県U・Iターンコンシェルジュ

- あなたのU・Iターンを実現します!
- 豊富な新潟県内の企業情報をもとに、ご希望の仕事を見つけます!
- 住居や学校など生活に必要な情報を提供します!



新潟県へのU・Iターンをお考えの方、まずは登録を!

登録は <http://www.niigata-uictc.com/>

または 新潟 U・Iターン コンシェルジュ 検索

お問い合わせ・お申し込み

新潟県U・Iターンコンシェルジュ事務局 株式会社パソナ パソナ・新潟
〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7番町1230-7 ストーカビル鏡橋3階
TEL 025-226-7075(平日 9:00~17:30)
Email k.niigata@pasona.co.jp

全世代向けU・Iターンポータルサイト

「にいがた暮らし」もお役にたちます

詳しくは <http://www.furusato-niigata.com>
または「にいがた暮らし」で検索!

- 世代別に必要な情報や、市町村情報が充実
- 世代別の「にいがた暮らし」情報
- にいがたの魅力
- 市町村情報
- 移住体験談のご紹介

にいがた暮らし相談窓口にご用の方はコチラ

東京・表参道に常設している新潟県へのU・Iターン相談窓口

にいがた暮らし通信

情報をメールマガジンやダイレクトメールでお届け(登録無料)

にいがた暮らしのイベント情報が充実

首都圏でのにいがた暮らしイベント情報や、地域おこし協力隊募集などの市町村情報

新潟U・Iターン総合サイト **Nii GET** もご活用ください

詳しくは <http://www.niiget.jp> または、「ニイゲット」で検索!

働く・暮らすに関する情報が充実

9つのカテゴリーに分類されたサイト集で、新潟で働くこと、暮らすことに関する情報を掲載。

取材記事を好きな時にじっくり読むことができます。

ニイガタビト

週替わりでU・Iターンされた方や生き生き働いている方の声を発信。

就職 企業情報

新潟県内の就職・求人に関する情報や企業についての情報を随時更新しています。

合同企業説明会スケジュール

県内外で開催される新潟への就職に関する合同企業説明会の日程が掲載されています。

リンク集

新潟の仕事や暮らし、U・Iターンに関する情報満載のサイトがそろっています。

最新の新潟情報も手に入ります。

オススメ情報

グルメ、イベント、ボランティア活動などとておきの口コミ情報です。

U・Iターン情報誌

「新潟生活」と「新潟U・Iターン情報」をセットで無料送付しています。

新潟生活

- 新潟にU・Iターンした先輩の体験談
- 新潟の豊かな暮らしや魅力的な仕事の紹介など

新潟U・Iターン情報

- 新潟県内企業の紹介
- 就職活動の動向
- 就職ガイダンスのお知らせなど

送付をご希望の方は、ニイゲットでお申込み、又は新潟県新潟暮らし推進課までお問い合わせください

お申し込み・お問い合わせ

新潟県新潟暮らし推進課

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
TEL 025-280-5635(直通)

